

開腹手術(腫瘍摘出、付属器摘出、茎捻転翌日手術)を受けられる患者さんへ

月/日	／	／	／	／	／	／	／
経過	入院・手術前日	手術日	手術後1日目	2日目	3日目	4日目	退院日
達成目標 (アウトカム)	・手術に向け準備ができる	・手術が無事終了する 術後：痛みのコントロールができる 性器出血の増大がない	・歩行ができる ・性器出血の増大がない ・腸の動きが回復し食事ができる		・日常生活動作ができる	・日常生活動作ができる ・退院指導が理解できる	・退院後の生活について理解することができる
治療 処置 薬剤 リハビリ	・入院してすぐに下剤を飲みます。 ・おへその処置をします。 ・手術に必要な物品を準備します (弾性ストッキング1足 腹帯1枚 カパ1袋 前開き寝衣1枚、病衣)	<手術前> ・6時：浣腸 ・9時：腔の洗浄 ・剃毛(外陰部と腹部の毛を剃ります) * 点滴を始めます 2本 ・弾性ストッキング着用します ・排尿を済ませます ・手術室へ行きます(歩行または車イス) ・手術開始時に感染管理の観点から抗菌薬を投与します。 <手術後> * フットポンプを使用します (下肢を圧迫し血流をよくするものです) * 硬膜外麻酔 (背中から鎮痛剤を持続的に入れ痛みをとります) * 持続点滴 2本/手術後 * 定期的に鎮痛剤を使用します。 * 心電図を装着します		* 弾性ストッキングの除去 * フットポンプの除去 (歩けるようになれば)		・(月 日)術後4日目 創部の確認、医師の診察を予定しています 創のテープをはがします ↓ テープ除去後シャワーもしくは創の洗浄をします その後スキントンテープの説明をします ※詳細はプリントをお渡しします	退院予定(午前中) ※状況によって退院日が変更することもあります
検査		・術後に腹部レントゲンがあります。	・血液検査 検査			・血液検査 ・検尿 検査	
活動 ・ 安静度	・制限なし 	・手術室に行くまでは自由です <手術後> ・ベッド上で過ごします ・自分で横を向いて構いません できない時は、お手伝いします	・体を積極的に動かしましょう ・歩き始めます	・病棟内	・病棟内	・制限なし	
栄養 (食事)	・常食(昼・夕) 21時以降絶食 ※飲水は(月 日 時)まで大丈夫です。 それ以降飲まないで下さい。	・絶飲食 	・朝より飲水可 ・ガスが出たら食事開始となります。 (3分粥→5分粥→全粥→常食)			・常食	
清潔	・入浴可能 ・髪も洗っておきましょう 	・手術前シャワー可 	・全身清拭 ・洗面介助(朝) 		・シャワー(洗髪)可 (創部にシールを貼りますので剥がさないようにしましょう) 		
排泄		* 術後尿の管が入ってます	・歩行できたら管は抜けます。				
説明	・手術前Li-Fiション 手術前後の状態の説明を行います。分からないことは看護師に遠慮なくお尋ね下さい ・麻酔科医の訪問があります	・痛い時、身体の向きを変えたい時などお手伝いできることがあれば遠慮なくお申し出下さい ・手術前に床頭台の鍵は看護師へ預けてください。	・排ガスが出たらお知らせください	・頑張って歩きましょう	・(月 日)術後4日目 退院後の生活について説明します		診察券、持参薬、退院処方(必要時)をお渡しします
観察	・検温3回 (10時・14時・19時)	・検温4回 (6時・10時・14時・19時)	・検温3回 (6時・14時・19時)	・検温2回 (10時・19時)	・朝検温		

※入院期間や内容は現時点で予測されるもので症状により変更になることがあります